

平成28年度 えりも高校第2回授業評価アンケート結果分析

アンケート実施期間：12月5日～12月16日

質問項目（各教科・科目共通）

| | | |
|--------------------|---|--|
| 教科担任 に関する 項目 | ① | 授業のねらいやポイントがわかりやすい。 |
| | ② | 生徒が取り組みやすいように、準備や展開に配慮がなされていた。 |
| | ③ | 一方的な説明でなく生徒自身が考えたり、工夫したり、意見・考えを交流・発表したりできるような授業であった。 |
| 生徒自身 に関する 項目 | ④ | 授業規律を守って学習している。 |
| | ⑤ | 授業に積極的・主体的に参加している。 |
| | ⑥ | 授業で基礎的・基本的な知識や技能が習得できている。 |

○生徒の評価

4～1の段階で評価する。

| | |
|---|---------------|
| 4 | そう思う。 |
| 3 | どちらかというと思う。 |
| 2 | どちらかというと思わない。 |
| 1 | 思わない。 |

○評価の段階

生徒の評価の平均を以下の評価とする。

| | |
|--------|-----|
| 4以上 | A評価 |
| 3.25以上 | B評価 |
| 2.5以上 | C評価 |
| 2.5未満 | D評価 |

国語科

1 評価が高かった項目について

- ・全体的に③と④の項目が高い。今後も生徒自身が考えたり、意見・考えを交流・発表したりできるような授業の工夫をしていく。授業規律も継続させていきたい。

2 評価が低かった項目について

- ・①のねらいやポイントがわかりにくいという授業があった。今後は、必要に応じて授業の最初でねらいを板書していくようにする。
- ・⑤の積極的に参加していると考えている生徒が他に比べてやや低い。授業に参加している意識をさらに持てるような工夫をしていく。

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・板書の構成をさらに工夫していく。
- ・今でも行っているが、他の国語科の先生の授業をお互いに見学し合う機会を増やし、研鑽を積む。

地歴公民科

1 評価が高かった項目について

- ・1学年現代社会・2・3学年日本史Bについては、①～③、および④⑥の項目の評価が高い。今後も引き続き、本時のねらいを明確にした上で、生徒たちが主体的に活動していける授業を展開していきたい。

2 評価が低かった項目について

- ・1学年現代社会では、⑤の項目（授業に主体的・積極的に参加している）にB評価となっているクラスがある。生徒たちが主体的・積極的に授業参加できていると実感でき、尚且つ達成感を持てるような取り組みを工夫していきたい。

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・なし

数学科

1 評価が高かった項目について

- ・授業の工夫について、前回よりも評価が上がっているので、教科担任それぞれが努力した結果だと考えられる。
- ・プリントや小テスト等の復習に関する教材を提供したのは、普段問題集を買いに行くのが難しい生徒にとっては好評だった。過保護になりすぎないように気をつけながら継続したい。

2 評価が低かった項目について

- ・授業の内容が必ずしも生徒の実態に即していなかった部分がある。
- ・一年生の書道室クラスなど一部で、主体的に参加している、と答えたものが少なかったことからもう少し工夫する必要がある。
- ・内容が高度な授業では自信のなさが感じられた。きめ細かな指導を継続していきたい。

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・授業によっては一方的な講義形式の方が良いと回答するものもいた。授業によってどういった形が最善なのかをもっと詰めていく必要がある。

理科

1 評価が高かった項目について

- ・①の「授業の狙いを明確にしている」が比較的高評価であった。今後も授業のはじめに目標や内容を示すことを続けていきたい。
- ・④「授業規律を守っている」
今後ともメリハリを持って授業を受けさせたい。

2 評価が低かった項目について

- ・②「授業の進め方・速さはちょうどいい」
生徒の様子を見ながら進度を考えていきたい。
- ・⑤「授業に積極的・主体的に参加している」
生徒が書いたり、発言したりする主体的な活動を増やす

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・学力差の広い集団に対して授業を行うため、苦手な生徒に対してフォローしたり、上位層が意欲的に取り組める課題を用意するなどの工夫を行いたい。

保健体育科

- 1 評価が高かった項目について
 - ・なし
- 2 評価が低かった項目について
 - ・なし
- 3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動
 - ・なし

英語科

- 1 評価が高かった項目について
 - ・なし
- 2 評価が低かった項目について
 - ・なし
- 3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動
 - ・なし

家庭科

- 1 評価が高かった項目について
 - ・どの授業でもおおむね高評価であった。中でも授業規律に関しては、評価が高いのでこのまま継続していきたい。
 - ・調理実習では、授業の前に実習のお手本を用意することでイメージがつかみやすかったのではないかと。今後も実習前には、実際のお手本を用意し、作業のイメージをつかみやすいように授業準備していきたい。
- 2 評価が低かった項目について
 - ・全体的に高評価ではあるものの、①の項目に関して課題がみられる。授業の最初にねらいやポイントを確認することを意識し授業を展開していきたい。
- 3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

1年A組では③の項目ではAがついたが⑤ではBになった。③と⑤は呼応する問いであると思うがこの結果を次のように分析した。

これは、授業について教員側の工夫や授業展開について客観的には一定の理解を示すものの、積極的に参加できていない（していない）ということだと思う。ほかのクラスでも同様のことがいえる。

以上より、生徒が積極的に参加したくなる授業内容の精選を行うべく、生徒理解を深め授業研究を深めていきたい。

情報科・商業科

1 評価が高かった項目について

- ・なし

2 評価が低かった項目について

- ・なし

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・なし